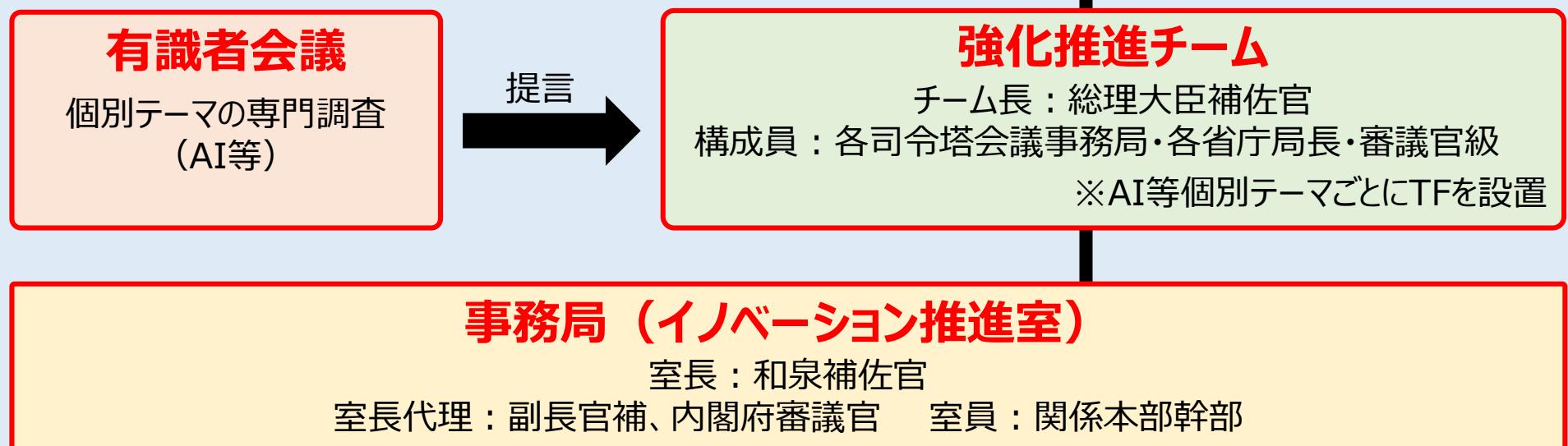
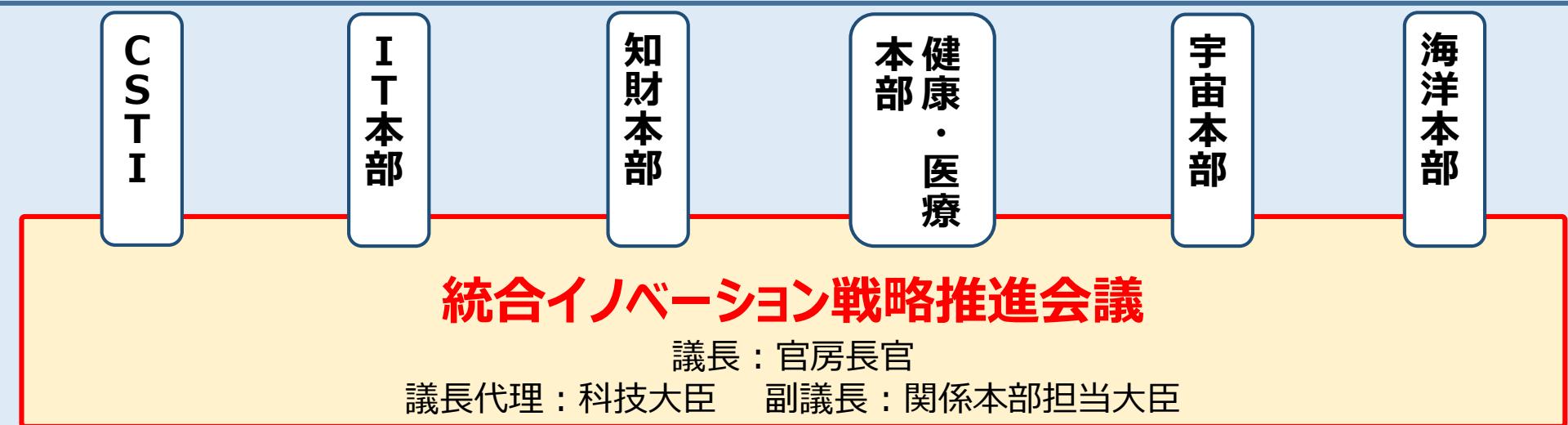


統合イノベーション戦略推進会議について

平成 30 年 7 月

調整・推進体制

- 統合イノベーション戦略（平成30年6月15日閣議決定）に基づき、イノベーション関連の司令塔機能の強化を図る観点から、横断的かつ実質的な調整機能を構築。
- 各種会議を有効に機能させ、政策を統合して「全体最適化」を図り、一丸となって、迅速かつ確実に実行。



推進会議で調整・推進が必要な事項

- 統合イノベーション戦略に盛り込まれた事項のうち、特にイノベーション関連の司令塔間で調整の必要がある事項について、点検・整理等を行い、横断的かつ実質的な調整・推進を実施。

戦略上のテーマ	特に調整・推進が必要な当面の事項の例
<知の源泉> <ul style="list-style-type: none">➤ データ基盤（3分野）<ul style="list-style-type: none">• 社会データ• 学術データ• 公的データ	<3分野を通じたデータ収集・連携> <ul style="list-style-type: none">➤ 全体構造（グランドデザイン）の提示（全体連結等）➤ 相互運用性確保・標準化（AI解析可能、欧米等と直結等）➤ 関係ルールの整備<ul style="list-style-type: none">• 知的財産戦略（オープン・アンド・クローズ戦略等）• 個人情報保護、円滑な越境移転 等➤ データ提供インセンティブの仕組みの構築
<知の創造> <ul style="list-style-type: none">➤ 戦略的研究開発➤ 大学改革	<戦略的研究開発> <ul style="list-style-type: none">➤ 研究開発マネジメント改革<ul style="list-style-type: none">• 資源（ヒト・モノ・カネ等）を適切に分配し有効活用するシステムの構築• 外国企業との共同研究等に係るガイドラインの策定• 資金配分機関の役割分担の明確化・連携の強化 等➤ 非連續的なイノベーションを生み出す研究開発の継続的・安定的推進

推進会議で調整・推進が必要な事項

戦略上のテーマ	特に調整・推進が必要な当面の事項の例
<知の社会実装> <ul style="list-style-type: none">➤ 創業➤ 政府事業・制度等のイノベーション化	<横断的な社会実装> <ul style="list-style-type: none">➤ Society 5.0実現に向けた社会実装（自動走行、健康・医療・介護等） <創業> <ul style="list-style-type: none">➤ 日本型ベンチャー・エコシステムの構築（対等な協業・連携、人材流動化等）
<知の国際展開> <ul style="list-style-type: none">➤ STI for SDGs	<ul style="list-style-type: none">➤ ロードマップの策定➤ プラットフォームの構築（我が国の技術シーズ等と国内外のニーズのマッチング）
<強化すべき主要分野> <ul style="list-style-type: none">➤ AI技術➤ バイオテクノロジー➤ 安全・安心➤ 環境エネルギー➤ 農業 等	<AI技術> <ul style="list-style-type: none">➤ 衍違いな規模での人材育成方策の策定・評価・見直し（产学研官一体）➤ 取り組むべき技術開発等の明確化 <バイオテクノロジー> <ul style="list-style-type: none">➤ 医療・非医療が一体となった新たなバイオ戦略の策定 <安全・安心> <ul style="list-style-type: none">➤ 「知る」「育てる」「守る」「生かす」の取組の推進（国及び国民の安全・安心の確保）

＜他の戦略に盛り込まれた横断的な関連事項の例＞

- フラッグシップ・プロジェクトの推進（Society 5.0実現関連）
- 大胆な規制・制度改革（サンドボックス制度の活用、ルール整備、国家戦略特区の推進等）
- 知的財産・標準化戦略